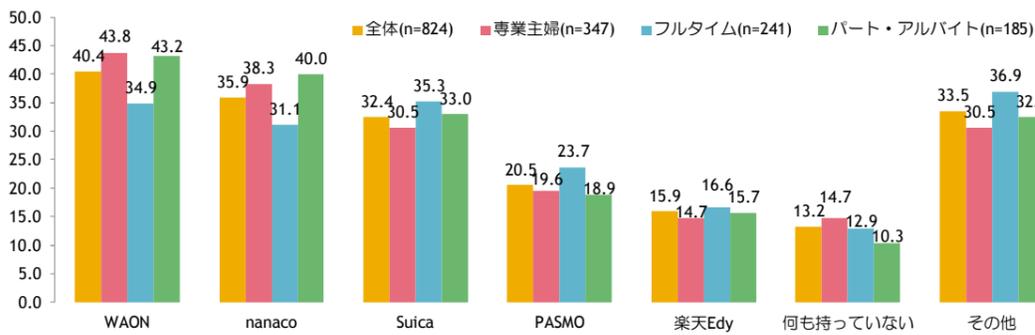


01 Woman's Trend

電子マネー、利用者のうち7割強は日常の買い物にも活用 消費税増税分をポイントで稼ぐ！ でもポイント管理が大変

Q. カードやアプリ、おサイフケータイで利用している電子マネーは？ (MA)



2015.01.15~01.18
女性を対象にWEB調査 (n=824)

(棒グラフ内数字はすべて%)

カードだけでなくアプリも使えるようになって、電子マネーは定着しているのか？ 女性たちの電子マネーの利用状況を探ってみた。

全国の19種の電子マネーを挙げたが、利用が10%を超えたのは上のグラフのとおり。専業主婦は「WAON」が「nanaco」。フルタイム勤務者は「Suica」をはじめ交通機関が多い結果に。交通費以外の買い物等で使うかどうかは、働き方に関係なく7割強が使うと回答。4人に1人は交通費のみの利用ということになる。交通費以外でよく使うとなると、働き方によって票数は異なるものの、全て「WAON」「nanaco」「Suica」の順。結局よく使う店で、お得なキャンペーンの多いものやマイルが貯まるものに落ち着いている。ただ、ほかで貯めているポイントとの交換が可能だとか、クレジットカードのオートチャージでポイントが付くなど、利便性の高さは地の利以上の競争力になりうる。

電子マネーを使うシーンはスーパーやコンビ

ニでの日常的買い物が6割がた。買い物に使う人は、ポイントを貯めて積極的家計防衛に努める人が多いので、利用できるシーンが広がったらもっと利用されそう。

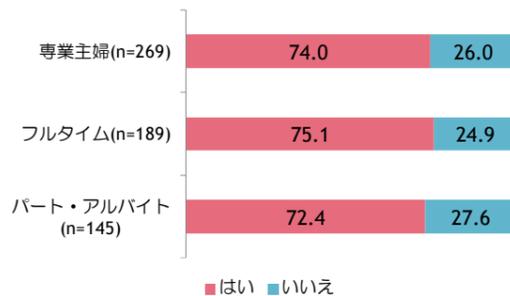
消費税増税分をポイントで稼ぐという声も散見され、ポイントサービスは達成感につながる目標になりうる。それだけにポイント管理(有効期限や残高など)についても、よりきめ細やかなサービスが望まれている。そもそも有効期限があるのも納得いかないとする人も多い。

買い物に使わない人たちの一番の理由はチャージが面倒というもの。クレジットカードと現金で不便はないので、ポイントがつくことによるお得感をもっと伝える必要があると。

「落とすかも」「使い過ぎるかも」といった不安に応えるサービスも考えられる。中には、へそくりの隠し場所として有効活用しているという人も。いろいろな使い道を示すことも必要かもしれない。

(所長/植田奈保子)

Q. 交通運賃以外の買い物や支払いでよく使う電子マネーはある？



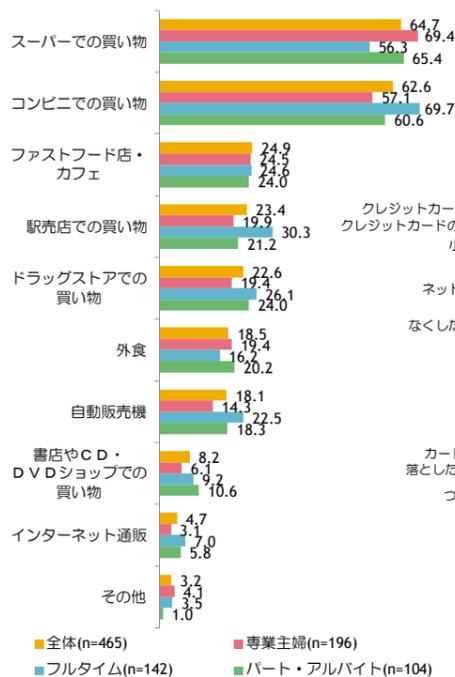
交通運賃以外の買い物や支払いでよく使う電子マネーベスト3

順位	電子マネー	票
1位	WAON	108
2位	nanaco	89
3位	Suica	25

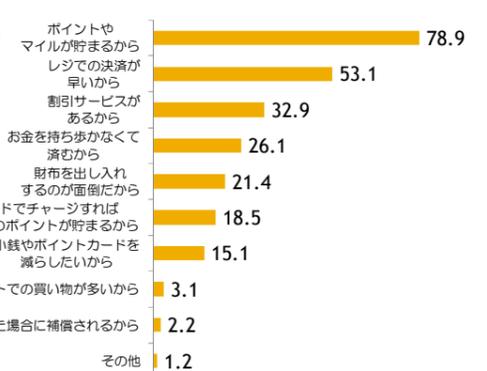
順位	電子マネー	票
1位	WAON	56
2位	nanaco	47
3位	Suica	30

順位	電子マネー	票
1位	WAON	54
2位	nanaco	44
3位	Suica	18

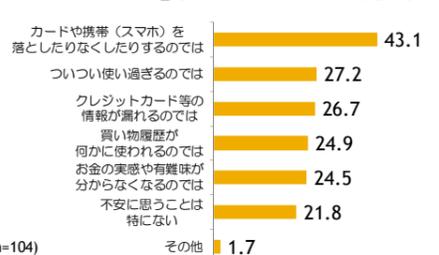
Q. 電子マネーで支払うものは？ (MA)



Q. 電子マネーを使う主な理由 (MA)



Q. 電子マネーについて不安なこと (MA)



02 Woman's Data

【OLのキモチ】

銀行選びは、手数料無料とATMの数重視

首都圏OLがメインとして利用している銀行のトップ3は三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行で主な活用方法は給与振込、クレジットカードの引き落とし、普通預金が上位。ネットバンキング、コンビニATMについては、1カ月に1回以上利用するOLは約4割ほどいる。銀行に対して重視していることの上位は右の通り。

【銀行に対して重視していること(複数回答)】

順位	重視していること	n	%
1	手数料が無料	397	64.3
2	ATMが多く、身近にある	369	59.8
3	店舗が多く、身近にある	333	54.0
4	ATMの利用時間が長い	239	38.7
5	金利が有利	190	30.8
6	手数料が安い	177	28.7
7	規模が大きくて安心感・信頼感がある	158	25.6
8	ネットバンキングが使いやすい	151	24.5
9	接客が良い	122	19.8
10	地域に密着している	29	4.7
11	海外で引き出せる	17	2.8

2014.12.16~12.22 シティリビング調べ
首都圏で働くOLを対象にWEBアンケート (n=617)

【子育てママのキモチ】

妖怪ウォッチ人気急上昇で2位ランクイン

幼稚園児と保育園児が好きなキャラクターは、2013年に引き続き「アンパンマン」が1位だった。2位の「妖怪ウォッチ」は2014年1月からテレビで放送開始となり、人気に火が付いた。子どもの年齢別に見ると、年長クラス(5歳児クラス)では群を抜いて1位となり、約7割が「好き」と答えるほどの人気を博している。

【園児の好きなキャラクターは？】
※上位抜粋

順位	キャラクター	n	%
1位	アンパンマン	228	45.6
2位	妖怪ウォッチ	213	42.6
3位	ミッキー・ミニ	186	37.2
4位	ドラえもん	185	37.0
5位	プリキュア	182	36.4
6位	しまじろう	181	36.2
7位	戦隊もの	168	33.6
8位	ハローキティ	144	28.8
9位	はなかつぱ	142	28.4
10位	仮面ライダー	140	28.0

2014.06.06~06.26 あんふあん調べ
幼稚園・保育園ママを対象に誌面アンケート (n=500)

03 Group Eyes

今年も読者の珠玉の一句に大注目！ シティOL川柳・ようちえん川柳

「シティリビング」「あんふあん」で毎年人気の企画、川柳大賞。選考委員に著名人が名を連ねるなど、今年も各所から注目を集めた。

シティリビングの「シティOL川柳」には、3,956句の応募。第18回となる今年の大賞には「壁ドンに 憧れ今は オフィスのドン」が選ばれた。

その他の入賞作には「お局を 飛び出しよう レジェンドに」や「持っているの 地位も名誉も マンションも」など、自虐的でありながら、いずれも読む者の胸に鋭く迫ってくるものばかり。読者からは、就業年数が長くなるにつれて川柳の内容が素直に笑えず身につまされるようになってきた、との声もあがるほど切れ味の鋭い句が並ぶ。

また幼稚園児とママの情報誌あんふあんは「ようちえん川柳」を募集。こちらは今年で第6回。ママ部門・パパ部門・先生部門の3部門があり今年も尾木ママが審査員長を務めた。ママ大賞に選ばれたのは「ガラケー



イラスト左/進藤やす子・右/腹肉ツヤ子

を スワイプしてる 我が子かな」というほほえましい一句。パパ大賞は「パパのチュウ 本気で逃げるな！ すぐ拭くな」とこちらは切なさに涙を誘われる一句。先生大賞には『汚れる』 たまのメイクも 拭き取られ」という苦笑いするしかない一句が選ばれた。

また、じいばあ特別賞には「ひるねする じいじが死んでる 孫の声」と親・子・祖父母の3世代がそろったからこそ起こり得たユーモアあふれる状況が見えてくる。

会社生活や子育ての大変さをシニカルな笑いに変えて乗り越える読者のセンスに触れられるのが、この企画の人気の理由の一つかもしれない。

(サンケイリビング新聞社CC室)